

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の見直しについて

1 計画の位置づけ

○役割

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例」を具現化した
本県農林水産業政策の「総合的な運営指針」

○計画期間

平成21年度～平成24年度

○施策の柱（4本柱）

食料政策……豊かで安全な食料の提供

産業政策……特長を生かした農林水産業の振興

地域政策……個性ある農山漁村の活性化

協働政策……参画・協働による潤いと安らぎのある空間の保全

2 見直しの主な内容

（1）施策の方向

①「いけるよ！徳島・行動計画」の反映

県政運営指針「いけるよ！徳島・行動計画」（案）に盛り込まれている
数値目標を位置づける。

②新たな施策の反映

農林水産政策の中心となる「ひろがるとくしまブランド戦略」、「次世代
林業プロジェクト」などを位置づける。

③防災・減災対策への言及

東日本大震災を踏まえ、今後想定される3連動地震等の発生に備え、
農林水産業の安定的継続を図るための「防災・減災」対策を位置づける。

（具体的な数値目標については、「地震防災対策行動計画」の見直し後、
速やかに位置づけることとする。）

（2）新たな行動目標の追加

現計画：155項目→見直し後：200項目

3 スケジュール

- | | |
|----------|--------------|
| ・ 7/7（木） | 第1回農林水産審議会開催 |
| ・ 7月～8月 | パブリックコメント実施 |
| ・ 9月県議会 | 経済委員会等での論議 |
| ・ 閉会后 | 第2回農林水産審議会開催 |

改訂より位置づける主要施策

産業政策

スタートする2大プロジェクト

ひろがるとくしまブランド戦略

- 「生鮮市場」はもとより、「食品分野」全般を視野に入れた取組みを通じて、「儲かる農林水産業の実現」を図るため、
 - ・消費感度の高い産地づくり
 - ・新農業ビジネス創出
 - ・特選ブランドの創出
 - ・「新ブランド豚」生産体制構築
 - ・「ハモ」認知度強化のための応援料理店
 - ・とくしまブランド海外協力店などを位置づけ

次世代林業プロジェクト

- 10年後の県産材生産量・消費量の倍増の実現を図るため、
 - ・先進的高性能林業機械の導入や高密度路網の整備による効率的林業生産
 - ・H22年12月策定の「とくしま木材利用指針」に基づく、公共施設や民間部門での県産材の積極利用の推進など、川上・川下対策を位置づけ

多様な担い手の育成

- 新規就農者の確保や就業者のレベルアップを図るため、
 - ・都市圏農業系大学生のインターンシップ事業
 - ・林業就業者のステップアップ方式による人材育成事業などを位置づけ

地球環境保全への貢献

- 農村に存在する農業用水や太陽光を活用したクリーンエネルギーの地産地消を図るため、
 - ・「再生可能エネルギー」導入のモデル事業などを位置づけ

食料政策

安全・安心な食料供給

- 安全で安心な食料供給体制を強化するため、
 - ・GAP手法を取り入れた安²認証制度のさらなる推進
 - ・「Vサポート関西(仮称)」の創設
 - ・県獣医師確保対策の推進
 - ・直売所における品質管理の推進などを位置づけ

地域政策

自然災害に強い農山漁村づくり

- 東日本大震災を踏まえ、3連動地震に備えた被害を最小限に抑えるため、
 - ・情報伝達システムの検討や防災教育の推進
 - ・漁港や海岸等のかさ上げや耐震化補強
 - ・緊急輸送路を補完する農道・林道の整備
 - ・ワカメをはじめとするブランド品目の遺伝資源確保などを位置づけ

鳥獣被害防止対策

- 増加する鳥獣被害を踏まえ、
 - ・一層の防止対策の強化
 - ・捕獲した鳥獣の有効利用などを位置づけ

協働政策

協働による保全活動の推進

- 森林の持つ多面的機能の発揮のため、
 - ・「新しい公共」の手法を取り入れた森林管理や森林取得の推進
 - ・オフセット・クレジット(J-VET)制度の推進
- 多様な人材による農山村の保全を推進するため、
 - ・農山漁村(ふるさと)協働パートナー制度
 - ・「耕作放棄地応援し隊」などを位置づけ

1 主な行動目標

※ ☆印は新規、△印は目標の上方修正

施策名	行 動 目 標
食料政策 豊かで安全な食料の提供	☆1 農業経営体当たりの産出額 ⑳ 400万円 → ㉔ 450万円
	△とくしま安 ² 農産物認証件数 ⑳ 50件 → ㉔ 100件
	☆「Vサポート関西（仮称）」の創設 ⑳ — → ㉔ 創設
	☆獣医学生のインターンシップ年間受入人数 ⑳ — → ㉔ 8人
	☆直売所への品質管理担当者の配置（累計） ⑳ — → ㉔ 20店
	☆「健やか・だんらん・地産地消レシピ」の作成（累計） ⑳ — → ㉔ 60品
産業政策 特長を生かした農林水産業の振興	☆「新とくしまブランド豚」出荷頭数 ⑳ — → ㉔ 90頭
	☆「飛び出す」ブランド産地育成事業実施産地数（累計） ⑳ — → ㉔ 30産地
	☆とくしま特選ブランド創出数（累計） ⑳ — → ㉔ 107ブランド
	☆「とくしまブランド・クチコミ応援隊」育成数（累計） ⑳ — → ㉔ 600人
	☆「とくしまブランド海外協力店」数 ⑳ — → ㉔ 4店舗
	☆農林水産物輸出金額 ⑳ 2,000万円 → ㉔ 5,000万円
	☆「徳島産はも応援料理店」の店舗数（累計） ⑳ — → ㉔ 6店

施策名	行 動 計 画
産業政策 特長を生かした農林水産業の振興	☆県産材の生産量 ㉑ 20万m ³ → ㉒ 26万m ³
	☆高能率団地設定数（累計） ㉑ — → ㉒ 30団地
	☆県外における「徳島すぎの家」協力店数（累計） ㉑ — → ㉒ 15店
	☆水産物出荷・流通施設等の整備（累計） ㉑ 1施設 → ㉒ 3施設
	☆国営総合農地防災事業による基幹用水路の整備延長 ㉑ 55 km → ㉒ 66 km
	☆地籍調査の実施市町村数 ㉑ 21市町村 → ㉒ 24市町村
	△「林業プロフェッショナル」育成者数（平成17年からの累計） ㉑ 104人 → ㉒ 170人
	☆都市圏大学生就業体験者数（累計） ㉑ — → ㉒ 20人
	☆間伐実施面積（累計） ㉑ 36千畝 → ㉒ 55千畝
	☆農業分野における省CO ₂ 「見える化」モデル生産者数（累計） ㉑ — → ㉒ 150戸
	☆再生可能エネルギーの導入モデル地区数 ㉑ — → ㉒ 1地区
	☆「6次産業化」による新商品等の開発事業数（累計） ㉑ — 件 → ㉒ 20件
地域政策 個性ある農山漁村の活性化	☆「中山間地域等直接支払制度」で地域農業を支える体制づくりに取り組んだ集落数 ㉑ 154集落 → ㉒ 164集落

施策名	行 動 計 画
地域政策 個性ある農山 漁村の活性化	☆サル対策としてのテレメトリー調査実施市町村数（累計） ㊦ 2市町村 → ㊴ 8市町村
	☆イノシシ・シカの処理加工施設数 ㊦ 1施設 → ㊴ 2施設
	☆「うまいよ！ジビエ料理店（仮称）」認定店舗数 ㊦ — → ㊴ 10店舗
協働政策 参画・協働 による潤いと 安らぎのある 空間の保全	☆農地や農業用水などを保全する協働活動及び老朽化した施設の 長寿命化に取り組んだ延べ活動組織数 ㊦ 104組織 → ㊴ 134組織
	☆県民参加による植樹などの森づくり件数 ㊦ 12件 → ㊴ 40件
	☆「公有林化」面積の拡大（累計） ㊦ 634ha → ㊴ 1,375ha
	☆カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数（累計） ㊦ 15企業・団体 → ㊴ 80企業・団体
	☆個人寄付金による森づくり箇所数（累計） ㊦ — → ㊴ 3箇所
	☆オフセット・クレジット(J-VER)制度の認証面積（累計） ㊦ 129ha → ㊴ 470ha
	☆農山漁村（ふるさと）協働パートナーの協定数（累計） ㊦ — → ㊴ 14協定
	☆耕作放棄地応援し隊登録者数 ㊦ — → ㊴ 100人
	☆ボランティア等の活用による耕作放棄地解消モデル圃場の設置数 ㊦ — → ㊴ 3圃場